



こんにちは！

家電リサイクルが行われるようになって約 20 年になり、作業する人がしんどくならないようにさまざまな工夫がされてきました。どんな変化があったのかを学んでいきましょう！

★関西リサイクルシステムズは、家電製品のリサイクルをしている工場です。

◆下の写真は、エアコンや冷蔵庫で使われている冷媒フロンを、ポンペに回収します。ポンペは集めている間、重さをはかっています。なぜ、重さをはかっているのでしょうか。



・エアコンフロン回収

- ① 途中で誰かがポンペをさわったとき、すぐにわかるようにするため。
- ② まちがってポンペの上に道具を置きっぱなしにしていないか調べるため。
- ③ 空っぽのポンペの重さをはかり、回収した冷媒フロンがどれだけ入っているか調べるため。

ヒント：フロンが満タンになったポンペは、別の工場に送られて中身をリサイクルします。

答え（ ）

◆下の写真は、逆さまにした状態でエアコンの中に入っているフロンガスを、上下にゆすって回収している様子です。ガタガタとゆすりながら回収しているのには理由があります。どんな理由があるのでしょうか。



- ① 少しでも多くのフロンガスを回収するためにゆすっている。
- ② 屋外に置かれている室外機に砂がいっぱいたまっているので、落とすためにゆすっている。
- ③ 「ガス、抜いてるよ」の合図

ヒント：フロンと機械油が一緒に入っているので途中で詰まってしまうことがあります。

答え（ ）

◆古いエアコン室内機はネジの数も少なく 1 人で 1 台を解体していたのですが、今は作業を分担して解体しています。それは何という作業でしょうか。正しいと思うものをカッコにかきましょう。



・昔の室内機解体



・今の室内機解体

- ① 連続解体作業
- ② 協力解体作業
- ③ 流れ解体作業

ヒント：コンベアが 1 方向に流れていき、その中で自分が担当する物を外していきます。

答え（ ）

※回答はホームページを確認してね。